

2022年4月25日 日本テレビ 定例記者会見

《 要旨 》

1. 昨年度の振り返り、および新年度の取り組み方針について

グループ連結決算は増収増益が達成できる見通し。その背景として3つの理由があり、1つ目は地上波全体の広告収入が回復しており、スポット収入が前年度に比べて大きく伸びたこと。2つ目はグループ全体の収支構造の抜本的な見直しが功を奏したこと。3つ目はグループ会社と連結対象となる系列局の収益改善が見られたこと。以上3点が挙げられる。

昨年は「コロナに負けない・コロナに打ち勝つ事業展開」を掲げ、2021年度個人視聴率は9年連続で三冠王を達成出来た。より多くの視聴者に日本テレビを支持して頂けたと思っている。また、リアルタイム配信をいち早く開始し、サステナビリティ・ポリシーの策定も行った。新年度も引き続きコロナ禍に負けない経営を継続すると共に、新しい成長戦略に沿った計画を推進していきたい。

2021年度は三冠王を獲得でき、有難く嬉しいことではあるが、リアルタイム視聴は減少傾向にある。メディア環境が大きく変化する中で、コンテンツを通じてご覧になる生活者の皆様に、「OFFからONへ、ONからFANへ、FANからBUZZへ！」をテーマに、常に話題や刺激を提供し続けられるよう、努めていきたい。

昨年度はコロナウイルスの影響を大きく受けたが、映画では「竜とそばかすの姫」「そして、バトンは渡された」など、皆様の記憶に残る作品をお届けできた。また、アニメ・イベント・IP・海外など、沢山の「種まき」ができたので、22年度は、これらの「種」が大きな「花」を咲かせることができると、大いに期待している。

・放送外収入

映画「劇場版『名探偵コナン ハロウィンの花嫁』」が公開2週目で興行収入36.5億と好調。「アニー」も先週23日（土）より始まり、今週29日（金）からは、渋谷Bunkamuraザ・ミュージアムにて「ボテロ展」が始まる。

2. 質疑他

Q. 24時間テレビ・メインパーソナリティーについて

A.

二宮和也さん、中丸雄一さん、山田涼介さん、菊池風磨さんは、昨年4月からYoutuBeチャンネルの「ジャニのちゃんねる」で一緒に活躍されているということで、すでに4人の息がぴったりあっており、非常に頼もしく思っている。

今回のテーマ「会いたい」は、このコロナ禍にあって視聴者のみなさんも我々も含め切実に感じた言葉の1つと感じている。「会いたい」というテーマにこめた今年の24時間テレビの想い、そして元気に前に進んでいけるパワーを、二宮さん、中丸さん、山田さん、菊池さんが視聴者のみなさんにしっかりと届けてくださると期待している。

Q. 巨人戦などプロ野球放送について

A.

ドラフト1位のルーキー・大勢投手や、ドラフト3位の赤星投手など、期待の若手が一軍の舞台で躍動し、チームが活性化されている印象を受ける。ファンの皆さんの期待も例年以上に大きいと感じている。シーズンは始まったばかりなので、これからも一層、さらにドラマチックなシーンが見られると期待している。

ロッテ佐々木投手の完全試合達成は素晴らしい、その歴史的瞬間もCS放送「日テレNEWS24」で放送することが出来た。6月に「巨人×ロッテ」の交流戦がありますので、素晴らしい対決をお届けできればと思っている。

CSでは6月3・4・5日に3連戦を放送し、5日（日）は地上波で放送する予定。

Q. 11日より各局出そろったリアルタイム配信について

A.

生活者の皆様の視点では、TVer上でのリアルタイム配信が、日テレ系だけでなく、5系列に選択肢が増えたことで、サービスの利便性は高くなったと言えると思う。11日以降、リアルタイム配信の再生回数のボリュームは、個別の番組単位でも増えているものが多く、相乗効果を感じている。

Q. ロシアによるウクライナ侵攻、残虐な映像の取り扱いについて

A.

残虐な映像は直接遺体と視認できないようにデフォーカス加工をして放送している。また、同時に番組の中で事前に「この後、遺体の映像が流れます」という告知スーパーを出し、悲惨な映像を目につたくない方に配慮している。

スタジオでもアナウンサー等が「このあと流す映像には遺体の映像が含まれます。ストレスを感じる方は視聴をお控えください」というお断りを読み上げることもある。戦争の悲惨さを伝えるという報道機関としての使命と、視聴者がこれらの映像をどう感じるのかということに配慮しながら放送している。

(了)

杉山 美邦 代表取締役 社長執行役員
福田 博之 取締役 常務執行役員
沢 桂一 取締役 執行役員